

みなさまへお願い

・病院の正面玄関付近には、車・自転車・バイク等は停められません。自転車・バイク等でお越しの際は、病院北側の駐輪場にお停めください。

・診察券について、患者様の誤認を防止する取り組みとして、当院では診察券によるご本人確認を実施しております。診察券を持参されていない場合は、有料（50円）で再発行させていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

・忘れ物について、忘れ物は1階総合受付にて1カ月間保管しています。保管期限がすぎましたら処分させていただきますのでご了承ください。

- ・外来処方箋の有効期限は、発行日を含め4日間です。
- ・月に1度、受付にて保険証を確認させていただきます。

診療時間

	午前	午後
月～金	9時より	13時より
土	9時より	午後はありません

受付時間

	午前	午後
月～金	8時30分～11時30分	12時30分～15時30分
土	8時30分～11時30分	午後はありません

※科によって異なる場合があります。また、予約制の科もございますので、お電話にてお問い合わせください。
※午前中の混み具合や急患等により、午後の診療開始時間が変更になる場合があります。

診療科目

内科・呼吸器内科・糖尿病内科・消化器内科・リウマチ科・
外科・消化器外科・肛門外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・
形成外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・
婦人科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科

面会時間

平日・土曜	14時～20時
日曜・祝日	10時～20時

関連事業

仁和会訪問看護ステーション 042-645-6298

仁和会訪問リハビリテーション 042-644-3729

仁和会介護支援センター花 042-646-5552

アクセス



JR八王子駅から
徒歩 3分

京王八王子駅から
徒歩 1分

駐車場 26台 2時間まで無料、以降1時間ごとに300円
月～土 8:00～20:00
日・祝・年末年始 10:00～20:00
【利用可能サイズ】
全長 5.3m 全幅 2.05m 全高 1.55m 重量 2.3t

仁和会クリニック大和田

【診療科目】内科・漢方内科・外科・小児科

【診療時間】午前 9:30～13:00（受付12:30まで）
午後 15:00～19:00（初診受付18:00、再診受付18:30まで）

【休診日】土曜・日曜・祝祭日・水曜午後（休日診療日を除く）

【TEL】 042-631-8751

【アクセス】〒192-0045 八王子市大和田町6-3-28
アクシア八王子ピュアマークス1階

キッズスペースございます。お子様用の絵本等を用意しております。
駐車場3台ございます。



仁和会だより

第5号
2019年1月

発行：一般財団法人 仁和会総合病院 広報委員会
TEL 042-644-3711 ホームページ http://www.jinwakai.jp



新年のご挨拶

平成31年の年頭に当たり 理事長 山本淳一

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いたします。平成31年、平成の最後の年となりました。

仁和会の平成時代を振り返りますと、創立以来、増改築の繰り返しにより迷路のようになり、老朽化した建物の更新がなされた時代でした。それにより歴史的遺産ともいえる手動式エレベーターがなくなってしまったのには寂しいものがありました。まず病棟、次いで外来、管理棟と制震、免震構造の建物となり東日本大震災でもびくともしませんでした。平成は災害の多い時代でした。特に昨年は記録的な猛暑、西日本豪雨、大阪北部地震、北海道地震と災害が多く、「今年の漢字」に「災」が選ばれたほどでした。

北海道地震では電気がすべて止まってしまうブラックアウトとなり、市民生活に大きな被害を出しました。病院も例外でなく多くの病院が機能を失い復旧に多くの時間を要しました。いかなる状況下においても最低限の機能を維持するようにと、行政からも自家発電の点検、整備等が要請されております。八王子地区でも、首都直下型、多摩直下型地震がいつ起きても不思議でないといわれております。災害時の救護所に指定されております当院にとりましても、その責を果たすため今年は老朽化した電気、空調設備を一新するとともに、現在の重油による自家発電設備に加えて、更に、ガスによる自家発電設備（コ・ジェネレーションシステム）も増設し、同時に省エネを図るとともに、災害に備える予定です。

医学の進歩、治療法が進歩し、癌の治療では、一人の薬剤費が年間数千万円に及ぶ例も出てきております。そこに高齢化が拍車をかけ年々医療費が増大しております。

医療費を抑制し効率的に医療資源を活用するため、病院の機能分化が進められております。当院では一昨年までに病床機能の再編が行われ、急性期、回復期（地域包括ケア病床）、慢性期（医療療養病床）、在宅（訪問診療、訪問看護）と病態に応じてご利用頂いております。

これからも大学病院などの高度急性期病院、地域の急性期病院、診療所、介護施設等と密接な連携のもと、住み慣れた地域で、環境で、療養していただけますよう地域医療に全責任をもって邁進して参ります。

人生100年の時代となり、すでに亡くなる方の一番多い年齢は、女性が93歳、男性が87歳になったといわれております。これからは健康寿命をいかに伸ばせるかが課題です。猪突猛進ならぬ猪突躍進、仁和会は今年も全力で皆様と共に歩んで参る覚悟です。

今年は「禍（災い）を転じて福と為す」よう皆様にとりましても、仁和会にとりましても、実りの多い年になりますことを願っております。



新年のごあいさつ 病院長 長尾 桓

新年、明けましておめでとうございます。今年のお正月は天候にも恵まれ、大事件や大きな災害もなく、ご家族揃っての初詣や家族団欒で新しい年を迎えられた方も多かったのではないかと思います。

年末、年始の新聞やテレビを見ますと、今世界は大きな変革期を迎えつつあります。米中の対立、E C 諸国の混乱など予測不可能な時代を迎えつつあります。一国主義の傾向を強めつつある諸先進国の狭間にあって難民の増加も大きな問題になりつつあります。わが国もその例外ではなく、航空母艦や戦闘機など軍備の増強、外国人労働者の積極的導入など国の進路に大きな舵を切りつつあるように思います。戦後民主主義の時代に育てられた私どもの世代にとりましては得体のしれない不安を感じる今日この頃です。

仁和会病院も開設70年を過ぎ、これまで様々な困難を乗り越えてきました。いよいよ平成最後の年となりました。4月には新元号が発表され、5月には新しい時代がスタートします。準備を進め、来るべき新時代を飛躍の時にしたいと思います。

病院開設時の理念である仁和の2文字を忘れず、ぶれることなく時代の荒波を乗り切っていきましょう。医療の原点はやさしさだと思います。高齢化社会が進行しつつある今、このことはますます重要になっています。病院を訪れる患者様の声に耳を傾け、患者様に愛される病院づくりに頑張りましょう。

患者様が玄関を一步入るとほっとする病院、砂漠のなかにある緑豊かなオアシスのような病院です。



今月のトピックス 「骨密度測定装置が導入されました」

あなたの骨は大丈夫ですか？ 骨密度測定のすすめ

骨粗しょう症って？

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気です。また、骨密度が減っていても、ほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもたらす骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来だし易くなります。早めの確認が必要です。



正常な骨の状態

骨粗しょう症でもろくなった骨の状態

※こちらのイラストはイメージです、実際には異なります。



高齢と骨粗しょう症

骨粗しょう症がもたらす骨折して、初めて痛みを感じたり、背中が曲がったり、更に寝たきりになったりして日常生活に支障を来し易くなります。



骨折に気を付けましょう

このような骨折は骨粗しょう症が原因かもしれません。

予防・治療できるの？

- 現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。
- 早い段階で骨密度の状態を把握することで、良い効果が上げられてきた実績があります。

どうすればいいの？

- まず、問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。
- 骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を測定します。
- 骨密度測定には微量のX線を用います。X線検査に準じて、ベッド上に仰向けで寝るだけです。骨密度検査で受ける被ばくは胸部エックス線検査より少ない量です。
- 測定は、約10分間で、痛みはありません。



骨密度測定装置

今月のトピックス

無料公開講座を開催いたします

糖尿病専門医である、**糖尿病内科の岡田光正医師**による公開講座を開催いたします。

当院の診察券をお持ちの方が対象となります。

診察券をお持ちの上、直接、会場へお越しください。



日時	2019年2月14日(木) 14:30~15:00 【14:15~受付開始】
会場	当院外来棟4階講義室
テーマ	『糖尿病の運動療法』

栄養科だより

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。まだまだ寒さは続きますが、1月は空気が乾燥し、風邪を引きやすくなる時期です。手洗い、うがいをして、風邪の予防に努めましょう。また、栄養価の高い冬野菜を食べて、元気な体を作りましょう！

☆冬の体調管理のポイント☆

①安静（休養をとる）

体を温かくして、十分な睡眠をとりましょう。



②水分補給

脱水症予防のため、喉が渇かなくても、こまめに水分補給はしましょう。食事に含まれる水分のほかに、一日1.5リットル程度の水分が体には必要です。

※アルコールは水分補給にはなりません※

アルコールを摂取すると尿量が増えるので逆に脱水状態になりがちです。

水分補給はお水・お茶がおすすめです。



③食事

・ビタミン類

ビタミン類は喉の粘膜を強くし、風邪の予防に効果的です。さつまいも・里芋などのいも類、ほうれん草、小松菜、大根、白菜などの冬野菜にもビタミン類は豊富に含まれています。

・たんぱく質

筋肉を作る基となります。魚、肉、大豆製品、卵、チーズなどが主なたんぱく源となります。

日々の活動量に見合った食事量を心がけ、寒い冬を乗り切りましょう！